

令和7年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価  
報告書（令和6年度の事務対象）

令和7年8月  
佐渡市教育委員会



## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

### 1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の規定により、教育委員会は毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民から信頼される教育行政を目指すため、令和6年度の佐渡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、報告するものです。

#### 【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検及び評価の方法

#### 点検及び評価の対象

点検及び評価は、佐渡市教育委員会が執行している事務事業のうち、令和2年9月に策定した「佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画」に掲げられている「6つの基本目標を達成するための18の施策(27の事務事業)」の項目について行いました。

なお、その項目に属する事業について、事業の評価票を作成し、（目標（成果）指標、目標値、実績値、成果（評価）、課題と対策、今後の事務事業の改善案を記入）自己評価を実施しました。

## 点検及び評価の手順

次の手順で点検及び評価を行いました。

教育委員会事務局による点検・評価の実施

事務点検評価者による点検・評価の実施

教育委員会において点検・評価報告書の決定

市議会への報告及び公表

## 自己評価ランク

- 【A】 目標を上回る成果に達したもの（100%以上）
- 【B】 ほぼ目標どおり（80%以上～100%未満）
- 【C】 目標の成果に達しなかったもの（80%未満）

## 3 学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価を実施するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第2項の規定による知見の活用を図るため、選任した学識経験者2人から教育委員会事務局が行った点検・評価（自己評価）について、外部評価を受けるという形で実施しました。

佐渡市教育委員会 事務点検評価者（令和7年度）

氏名	経歴等
池 典比古	元佐渡市教育委員
柳澤 正二	元佐渡市職員

## 目 次

1	教育委員会の活動状況	1
	教育委員会会議の開催状況	1
	教育委員会会議以外の活動状況	6
2	令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票	
	総合教育センター事業（学校教育課）	7
	総合教育センター事業（学校教育課）	9
	自校給食・給食センター管理運営事業（学校教育課）	10
	特別支援教育推進事業（学校教育課）	12
	総合教育センター事業（学校教育課）	14
	総合学習支援事業（学校教育課）	15
	国際教育ALT事業（学校教育課）	17
	学校ICT推進事業（学校教育課）	19
	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業（学校教育課）	20
	心の教育支援事業（学校教育課）	21
	総合教育センター事業（学校教育課）	23
	市立学校等人材育成事業（学校教育課）	24
	生涯学習事業（社会教育課）	26
	公民館活動推進事業（社会教育課）	28
	スポーツ推進事業（社会教育課）	30
	読書推進事業（社会教育課）	32
	博物館・資料館管理運営事業（社会教育課）	34
	世界遺産登録推進事業（世界遺産推進課）	36
	ジオパーク推進事業（社会教育課）	38
	埋蔵文化財調査保存事業（世界遺産推進課）	40

⑳	有形文化財保存活用事業（世界遺産推進課）	4 1
㉑	芸術事業（社会教育課）	4 2
㉒	佐渡学推進事業（社会教育課）	4 4
㉓	青少年育成活動事業（社会教育課）	4 6
㉔	学校教育振興事業（学校教育課・社会教育課）	4 8
㉕	学校・家庭・地域の連携促進事業（社会教育課）	5 0
㉖	児童援助事業・生徒援助事業（教育総務課）	5 2
	参考：評価 施策実施上注目すべき数値の一覧	5 3

3	総評	5 5
---	----	-----

# 1 教育委員会の活動状況

## 教育委員会会議の開催状況

定例会（12回） 臨時会（2回）

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和6年第5回 定例会 (R6.4.24)	議案第10号	佐渡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第11号	佐渡市教育委員会スクールバス等運行要領の一部を改正する告示の制定について
	議案第12号	佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン評価懇談会開催要綱の制定について
	議案第13号	佐渡市博物館マスコットキャラクターイラスト利用取扱要綱の制定について
	議案第14号	佐渡市都市公園体育施設の管理に関する規則の一部を改正する規則の専決処理について
	議案第15号	佐渡市スポーツ国際交流員就業規則の専決処理について
	議案第16号	佐渡市適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示の制定について
	議案第17号	佐渡市文化財保護審議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第18号	佐渡市博物館協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第19号	佐渡市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第20号	学校医（内科）の委嘱に係る専決処理について
	議案第21号	学校医（眼科）の委嘱に係る専決処理について
	議案第22号	学校医（耳鼻科）の委嘱に係る専決処理について
	議案第23号	学校薬剤師の委嘱に係る専決処理について
	議案第24号	佐渡市いじめ防止対策等に関する委員会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第25号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第26号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第27号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第28号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第29号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第30号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第31号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第32号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第33号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第34号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第35号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第36号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第37号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第38号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第39号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第40号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第41号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第42号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第43号	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
	議案第 44 号 議案第 45 号 議案第 46 号 議案第 47 号 議案第 48 号 議案第 49 号 議案第 50 号 議案第 51 号 議案第 52 号 議案第 53 号 議案第 54 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4 報告事項 5 報告事項 6 報告事項 7 報告事項 8 報告事項 9 報告事項 10 報告事項 11 報告事項 12 報告事項 13 報告事項 14 報告事項 15 報告事項 16 報告事項 17 報告事項 18 報告事項 19	佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市不登校児童生徒訪問指導員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市スポーツ推進委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市社会教育委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館長の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 第 3 次佐渡ジオパーク基本計画の策定について 佐渡市学校米飯等給食費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市学校給食食材費支援補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市立学校の児童及び生徒の文化及び体育活動費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市立幼稚園及び小・中学校記念事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市特別支援学校児童生徒就学援助補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市立学校等人材育成事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡ことば・こころの教室親の会支援事業補助金交付要綱の一部改正について 一般財団法人佐渡文化財団運営費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市伝統芸能継承事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市地域公民館分館活動事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市青少年育成事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市女性団体活動事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市小中学校 P T A 連合会活動事業補助金交付要綱の一部改正について 一般財団法人佐渡市スポーツ協会運営費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市スポーツ少年団補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市ジュニアスポーツクラブ遠征費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市ジュニアスポーツ指導者等資格取得補助金交付要綱の一部改正について
令和 6 年第 6 回 臨時会 （R6.5.8）	議案第 55 号 議案第 56 号 議案第 57 号	教育長の職務代理者の指名について 教育委員の議席の指定について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
	議案第 58 号 議案第 59 号 議案第 60 号 報告事項 1 報告事項 2	佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地域クラブ活動推進協議会委員の委嘱について 佐渡地区における義務教育諸学校教科用図書採択等について 相川郷土博物館リニューアルオープンについて
令和 6 年第 7 回 定例会 ( R6.5.22 )	議案第 61 号 議案第 62 号  議案第 63 号 議案第 64 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4 報告事項 5	佐渡市教育委員会委員き章規程の制定について 佐渡市外国語指導助手就業規則の全部を改正する規則の制定について 「佐渡市部活動の在り方に係る方針」の一部改正について 佐渡市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について 学校情報について 令和 6 年度佐渡市一般会計補正予算（第 2 号）の概要について 一般財団法人佐渡文化財団の経営状況について 小木町伝統的建造物群保存地区の状況について 学校再編統合協議会の状況について
令和 6 年第 8 回 定例会 ( R6.6.26 )	報告事項 1 報告事項 2  報告事項 3 報告事項 4	「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録に向けた状況について 佐渡市立学校等遠距離通学児童生徒通学支援及び通学費補助金交付要綱の一部改正について 学校情報について 学校再編統合協議会の状況について
令和 6 年第 9 回 定例会 ( R6.7.29 )	議案第 65 号  議案第 66 号  議案第 67 号 議案第 68 号 報告事項 1	令和 7 年度・令和 8 年度・令和 9 年度・令和 10 年度佐渡地区中学校教科用図書採択について 佐渡市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市真野地区公民館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について
令和 6 年第 10 回 定例会 ( R6.8.21 )	議案第 69 号  議案第 70 号 報告事項 1 報告事項 2  報告事項 3 報告事項 4	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について 佐渡市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について 学校情報について 令和 6 年度全国学力・学習状況調査から見る佐渡市の学力実態と課題への対策について 令和 6 年度佐渡市一般会計補正予算（第 5 号）の概要について 佐渡市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分について
令和 6 年第 11 回 定例会 ( R6.9.24 )	議案第 71 号 報告事項 1	佐渡市公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処理について 令和 7 年度組織改編 素案の概要について
令和 6 年第 12 回 定例会 ( R6.10.23 )	議案第 72 号 議案第 73 号 議案第 74 号 議案第 75 号 報告事項 1	佐渡市文化財保護審議会への諮問について 学校歯科医の担当校変更に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
	報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4 報告事項 5	一般財団法人佐渡市スポーツ協会運営費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市スポーツ少年団補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市ジュニアスポーツクラブ遠征費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市ジュニアスポーツ指導者等資格取得補助金交付要綱の一部改正について
令和 6 年第 13 回 定例会 （R6.11.12）	議案第 76 号 議案第 77 号 議案第 78 号 議案第 79 号 議案第 80 号 報告事項 1 報告事項 2	佐渡市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市学区外就学許可基準の一部を改正する告示の制定について 財産の取得について（追認）に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 令和 6 年度佐渡市一般会計補正予算（第 6 号）の概要について
令和 6 年第 14 回 臨時会 （R6.12.10）	議案第 81 号 議案第 82 号 議案第 83 号 議案第 84 号	佐渡市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定に係る専決処理について 佐渡市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定に対する意見について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について
令和 6 年第 15 回 定例会 （R6.12.25）	議案第 85 号 議案第 86 号 議案第 87 号 議案第 88 号 議案第 89 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4 報告事項 5 報告事項 6 報告事項 7	佐渡市立学校事務職員の職務に関する基本要綱の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市立学校文書取扱規程の制定について 佐渡市文化財保護審議会への諮問について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市伝統芸能継承事業補助金交付要綱の一部改正について 一般財団法人佐渡文化財団運営費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市女性団体活動事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市青少年育成事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市小中学校 PTA 連合会活動事業補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市地域公民館分館活動事業補助金交付要綱の一部改正について
令和 7 年第 1 回 定例会 （R7.1.28）	議案第 1 号 報告事項 1 報告事項 2	佐渡市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 令和 7 年度教育行政方針について
令和 7 年第 2 回 定例会 （R7.2.19）	議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号	佐渡市教育振興基本計画の策定について 佐渡市学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について 佐渡市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則の制

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
	議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4	定について 佐渡市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 管理職教員の人事異動内申について 学校情報について 令和 6 年度佐渡市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について 令和 7 年度佐渡市一般会計当初予算の概要について さわた図書館家具等備品購入について
令和 7 年第 3 回 定例会 （R7.3.17）	議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 議案第 17 号 議案第 18 号 議案第 19 号 議案第 20 号 議案第 21 号 議案第 22 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4 報告事項 5 報告事項 6	佐渡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市行政機構の改革に伴う関係規程等の整理に関する規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市行政機構の改革に伴う関係規程等の整理に関する訓令の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市畑野鳥越文庫条例施行規則等を廃止する規則の制定について 佐渡市社会体育施設使用料減免要綱等を廃止する告示の制定について 佐渡市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市スポーツ国際交流員就業規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市文化財の指定解除について 佐渡市文化財の指定解除について 佐渡市文化財の指定について 学校歯科医の委嘱に係る専決処理について 学校歯科医の担当校変更に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 教職員の人事異動内申に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市博物館協議会の進捗状況について 佐渡市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分について 佐渡市立学校等遠距離通学児童生徒通学支援及び通学費補助金交付要綱の一部改正について 学校再編統合協議会の進捗状況について 教育振興基本計画のパブリックコメントに対する佐渡市の考え方について

## 教育委員会会議以外の活動状況

### 総合教育会議

回（開催日）	会 場	議 題
令和6年度第1回 （R6.11.14）	佐渡市役所2階 大会議室	1 スポーツ・文化関係事務の移管について 2 佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画について

### 会議及び研修会

開催日	会議名等
R6.7.19	令和6年度新潟県市町村教育委員会連合会理事会、定期総会、研修会、交流会（上越市）
R6.6.27	令和6年度市町村教育委員会 研究協議会【前期】（オンライン）
R7.1.16	令和6年度市町村教育委員会 研究協議会【後期】（オンライン）

### その他事業等への参加

開催日	会議名等
R6.4.1	小・中学校辞令交付式
R6.4.8	小・中学校入学式
R6.8.15	二十歳の集い（アミューズメント佐渡）
R6.8.21	加茂小学校長寿命化改良工事 現地視察
R6.9.20	道徳教育研究会（赤泊小学校）
R6.12.4	令和6年度新潟圏域ジオパーク子ども交流事業（小木小学校）
R7.3.3	小・中学校卒業式
R7.3.24	

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	総合教育センター事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策1 学ぶ意欲を高め確かな学力を育成する教育】				
事業概要	教育センター主催研修等、教職員の研修講座を開催し、学力の向上を図る。				
対象	教職員、児童、生徒				
意図（目標）	教職員の指導力向上により、児童生徒に確かな学力をつける。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）		%	小・国+1.8 小・算-2.5 【B】 中・国-3.8 中・数-10.0 【C】	小・全国 平均以上 中・全国 平均以上	小・国+0.3 小・算-1.4 【B】 中・国-4.1 中・数-9.5 【C】
算式	平均正答率の全国との差 評価基準 ・全国平均以上2教科：A ・全国平均以上1教科かつ -3P以上が1教科：B				
標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）		%	小59.0 【C】 中33.8 【C】	小80 中50	小61.4 【C】 中41.5 【B】
算式	偏差値50を上回った教科数 / 実施教科数 評価基準（小）80%以上：A、64%以上：B （R5より）（中）50%以上：A、40%以上：B				
全国学力・学習状況調査の教科の意義に関わる児童生徒質問紙調査（小・中） 「その教科の勉強は大切だと思うか」		%	小・国95.7 小・算96.6 中・国94.5 中・数79.1	小95 中80	小・国94.4 小・算94.9 【B】 中・国96.8 中・数85.4 【A】
算式	国語・算数（数学）の学習の意義に関わる質問項目の肯定評価の数値 評価基準（小）2教科95以上：A、80%以上：B （中）2教科80以上：A、70%以上：B				
全国学力・学習状況調査の授業内容の理解度に関わる児童生徒質問紙調査（小・中） 「授業の内容はよく分かるか」		%	小・国90.3 小・算86.0 中・国82.2 中・数67.7	小95 中80	小・国89.8 小・算94.9 【B】 中・国81.8 中・数85.4 【A】
算式	国語・算数（数学）の授業内容の理解度に関わる質問項目の肯定評価の数値 評価基準（小）2教科95以上：A、80%以上：B （中）2教科80以上：A、70%以上：B				

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	学校支援訪問における各校への指導			100	100	100
	指標	支援訪問で指導を行った学校数の割合	%			
2	校長会と連携した学力向上の取組			2	2	2
	指標	校長会との情報交換会の実施回数	回			
3	総合教育センター事業			12 (426人)	12 (450人)	12 (447人)
	指標	研修実施回数	回			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	学校支援訪問における各校への指導 【A】	<p>【成果】 指導主事が計画的に全ての小・中学校へ訪問し、授業改善・学力向上・ICT活用の指導を行うとともに、教育指導主事が学校評価を重点的に指導した。また、令和6年度から派遣申請書不要の計画外に行う指導主事訪問（通称「ふらっと訪問」）を年間通じて行い、授業支援を行った。</p> <p>【課題と対策】 学校が抱える課題と併せて、「学力向上の取組の充実」と「いじめ・不登校を生まない学校づくり」を重点として、各学校への働き掛けを継続的に実施する。</p>
2	校長会と連携した学力向上の取組 【A】	<p>【成果】 小中学校校長会と市教育委員会が連携会議を開催することで、学力向上に係る課題や取組の方向性を確認することができた。</p> <p>【課題と対策】 市教育委員会が必要な支援・指導を行いながら、中学校区を一つの単位とし、小中学校の連携を図りながら学力向上について継続的に議論していく必要がある。</p>
3	総合教育センター事業 【A】	<p>【成果】 島内外で実践経験の講師を招き、年12回研修会を開催した。ICT活用研修（ミライシード操作活用研修）では、ほぼすべての受講生から肯定的な評価を得ており、教職員の資質向上に寄与した。</p> <p>【課題と対策】 学校ニーズや働き方改革等も考慮しながら、教員以外の学校運営を支える介助員や図書館事務等に対する研修も充実させる必要がある。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>佐渡総合教育センター主催の研修や学校支援訪問、県教育委員会との連携による取組を継続する。令和7年度も算数・数学、外国語など学力向上を目指した各種研修と、生徒指導や学級経営の研修、「ふらっと訪問」による授業支援を行い、さらに「幼保小の架け橋プログラム研修会」、「複式授業研修会」も行い、新たに「授業・学級づくり研修講座」も開設する。教職員の負担増にならないよう講座数や対象者の見直し、オンラインや動画配信の環境整備も進めていく。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	総合教育センター事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策2 豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育】				
事業概要	教育センター主催研修講座等、教員の研修講座を開催する。				
対象	教員				
意図（目標）	児童生徒の豊かな心、倫理観、規範意識を養うため、道德教育、人権教育、同和教育の充実を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
すべての学級で道德の授業を公開している割合（小・中）		%	100	100	91.4
算式	実施校数 / 市内小中学校数		【A】		【B】
人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）		%	100	100	100
算式	実施校数 / 市内小中学校数		【A】		【A】

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座）			100	100	100
	指標	道德教育研修講座の肯定的評価	%			
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座）			100	100	100
	指標	人権教育、同和教育研修講座の肯定的評価	%			

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価			
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座）	【成果】 上廣道德教育アカデミー上越教育大学特任教授の櫻井雅明氏を講師に道德教育研修講座を実施した。模擬授業を通して、役割演技や道德の評価の方法について、具体的に学ぶことができた。			
	【A】	【課題と対策】 「考え、議論する道德」に向けて、多様な学習方法が求められていることから児童生徒の学びの見取り方、学習方法の工夫等について、今後も研修を継続していく必要がある。			
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座）	【成果】 「部落差別をなくす佐渡の会」の石崎澄夫氏による講義と現地研修を通して、部落差別問題について理解を深めた。			
	【A】	【課題と対策】 若手教員の不安感（「同和教育に対して自信をもって指導できない。」という声）に対応するため、今後も継続的に研修を行う必要がある。			

Action	今後の事務事業の改善案			
令和7年度は、教員の授業力向上等の支援や若手教員の支援を行うため、県の教科教育専門監事業の道德科専門監と連携し、教員が自信をもって道德科の授業に取り組める環境整備を進める。				

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	自校給食・給食センター管理運営事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策3 健康でたくましい心身をはぐくむ教育】				
事業概要	自校方式1校、学校給食センター6施設で、地場産食材を使用した学校給食を児童生徒等に提供するとともに、栄養教諭による食に関する授業を実施する。				
対象	教職員、児童、生徒				
意図（目標）	地場産物の使用拡大と学校給食を生きた食材の教材とした授業等を通じて、生産者等への感謝の気持ちを育みと郷土を愛する気持ちを養う。				
目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式		目標値	実績値	
学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）		%	22.8 【B】	23	20.3 【B】
算式	実績値 = 佐渡産野菜使用率 + 水産物使用率の平均				
栄養教諭・学校栄養職員が参画した食に関する授業を実施している割合（小・中）		%	91.4 【A】	100	89.5 【B】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				

Do	事務事業の目標（成果）指標					
枝番	事務事業を構成する主な細事業			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	米以外の地場産食材使用事業			野菜 16.4	野菜 17	野菜 14.4
	指標	米以外の地場産食材年間使用量の割合（野菜、水産物）	%	水産物 29.2	水産物 30	水産物 26.2
2	小学校から中学校までの「9年間で一貫した食育指導」の実施			97.4	100	94.7
	指標	題材に沿った食育指導の実施率				

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	米以外の地場産食材使用事業 【B】	【成果】 米以外の地場産食材については、季節の野菜や水産物などを定期的に給食に使用した。 【課題と対策】 野菜については、調理場の規模に見合った数量と質の確保、配送方法の調整が課題となっている。また、水産物は不漁となる場合もあり、生産者や関係団体等と情報交換を密にし、使用率向上に取り組む必要がある。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	小学校から中学校までの「9年間で一貫した食育指導」の実施  【B】	<p>【成果】 令和6年度末の食育指導に関する食育指導実施調査より、学校での実施率は、小学校は100%、中学校は86.7%（未実施2校）であった。</p> <p>【課題と対策】 中学校では栄養教諭の訪問スケジュール調整が課題となった。基本は対面であるが、オンライン授業など、実施方法を改善しながら全ての小中学校で実施していく。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
地産地消の推進に向けて、生産者や関係団体等と協議を継続する。また、食育に関する授業については、栄養教諭の効率的な訪問スケジュールやICT活用も視野に取組を進める。	

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	特別支援教育推進事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育】				
事業概要	障がいに応じた適切な教育を行うため、学習活動のサポートを担う介助員を配置する。				
対象	児童、生徒				
意図（目標）	児童生徒それぞれの教育的ニーズを把握し、適切かつ必要な支援体制を整備する。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
基準に基づく介助員の配置割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	配置人数 / 配置希望人数				
「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	作成・活用人数 / 作成必要人数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	介助員意識調査			2	2	2
	指標	介助員意識調査の実施回数	回			
2	個別の教育支援計画に係る指導			35	35	35
	指標	個別の教育支援計画に係る指導の実施校数	校			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	介助員意識調査 【A】	【成果】 全ての介助員に対し意識調査等を実施し、仕事上の悩みなどを把握し、働きやすい職場環境づくりに努めた。 【課題と対策】 各校の管理職には、学校現場における教員や介助員同士の関係性にも配慮した人事管理を指導しながら資質向上に取り組む。			
	個別の教育支援計画に係る指導 【A】	【成果】 全ての小・中学校において個別の教育支援計画等の作成が行われて支援が実施された。 【課題と対策】 個別の計画書を学校以外で支援にあたる外部関係者や支援会議などで有効活用できるように、保護者も含め関係者で情報共有していくルールづくりが必要である。			

Action	今後の事務事業の改善案
<p>介助員の負担感ややりがい、学校との連携状況を定量・定性の両面から把握することで、支援の在り方を客観的に評価するように努める。</p> <p>また、該当児童生徒に対しては、一人ひとりの合理的配慮に留意して作成した個別支援計画を基に、保護者や支援関係者と連携を図っていく必要がある。</p>	

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	総合教育センター事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策5 人間性や社会性の基礎を身に付ける幼児教育】				
事業概要	幼保小の連携を図り、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る。				
対象	教職員、幼児、児童				
意図（目標）	幼稚園、保育園、認定こども園の保育者、小学校教職員の連携を図り、教育活動や目指す姿を共有することで、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
幼稚園・保育園との教育活動の交流を行っている割合（幼保・小）		%	95 【B】	100	100 【A】
算式	実施小学校数 / 市小学校数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	学校支援訪問・校長会における指導			22	22	21
	指標	指導した小学校数	校			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	学校支援訪問・校長会等における各校への指導  【A】	<p>【成果】 1校は校区内の園が休園中のため、22校中21校が交流を実施した。幼保小の架け橋プログラム研修会を通じて、幼保小間での支援方針や発達理解に共通認識が生まれ、教職員間の連携意識を高めることができた。</p> <p>【課題と対策】 園と学校の教職員に過度な負担がかからない形で、交流事業や研修会を継続していく必要がある。</p>			

Action	今後の事務事業の改善案
令和7年度から幼保小の架け橋プログラムのカリキュラムに沿って、相互参観や交流等を積極的に進め、教職員間の連携意識と家庭との協力体制を築いていく。	

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	総合学習支援事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策6 佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育】				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業や団体と連携し、実際の職場での体験を通じて仕事への理解を深める。</li> <li>・キャリア教育の理解促進と指導力向上のため、教員に対しての研修等を実施する。</li> </ul>				
対象	教員、児童、生徒				
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校で職場体験学習を実施し、キャリア意識形成のきっかけを提供する。</li> <li>・生徒が自分の生き方や将来について主体的に考える力を育む。</li> </ul>				
事務事業の目標（成果）指標					
算式	指標の算式	単位	5年度 実績値	6年度（評価年度） 目標値 実績値	
	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）	%	100 【A】	100	100 【A】
算式	実施中学校 / 全中学校				
	「みらい'sノート」「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）	%	100 【A】	100	100 【A】
算式	実施小学校 / 全小学校				
全国学力・学習状況調査のキャリア教育に関わる児童・生徒質問項目（小・中）					
算式	「将来の夢や目標をもっているか。」 項目の肯定評価の数値	%	小80.6 中67.4	85 70	84.5 【B】 67.2 【B】
算式	「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思うか。」 項目の肯定評価の数値	%	小86.8 中67.0	90 70	87.3 【B】 75.3 【A】

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度） 目標値 実績値	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 （中学校）			100	100	100
	指標	実施中学校 / 全中学校	%			
2	支援訪問における指導			35	35	35
	指標	指導した学校数	校			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	職場体験に向けての 事業所との合同準備 会の実施  <b>【 A 】</b>	<b>【成果】</b> 受入事業所を確保し、事業所・学校合同準備会において、課題解決型職場体験の意義やミッションの設定についての理解を深め、全ての中学校で課題解決型職場体験を実施することができた。 <b>【課題と対策】</b> 本事業を実施する上で、事前調整に係る負担感は事業所、学校、市教育委員会ともに大きいことから、合同研修会の内容を見直すなど、効率的な実施方法を検討する。
2	支援訪問における指 導  <b>【 A 】</b>	<b>【成果】</b> 支援訪問によって、全ての学校で「みらい'sノート」や「キャリア・パスポート」の活用が進んでいる。 <b>【課題と対策】</b> 学校現場におけるキャリア・パスポートの活用は、依然として一定の差が見られ、記録方法や活用場面、指導体制の面で工夫や改善の余地が残されている。今後は、各校のキャリア・進路担当を対象とした研修会を継続的に実施する必要がある。

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	課題解決型職場体験を持続可能かつ充実させていくために、地域産業振興課、子ども若者課と連携し、事業所の開拓、選定、依頼の方法や、課題解決型職場体験の一連の流れの見直しを行い、事業所・学校の負担軽減を図る。 「みらい'sノート」「キャリア・パスポート」の活用が各校で定着するように、教育課程への位置付けを指導するとともに、引き続き研修会を実施していく。

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	国際教育A L T事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】				
事業概要	英語を母国語とするA L T（外国語指導助手）を任用し、小中学校に派遣して、コミュニケーション能力の育成と異文化交流を行い、国際教育を推進する。				
対象	教員、児童、生徒				
意図（目標）	小学校へ外国語教育が本格的に導入されることを踏まえ、小・中連携を意識した英語指導法研修を進めるとともに、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実に努める。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
指導者向けの小・中英語教育の円滑な接続のための研修や交流（小学校へ英語の出前授業や授業参観、情報交換会）を実施している割合		%	54 【C】	80	84 【A】
算式	実施中学校区数 / 市中学校区数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	国際教育A L T事業			100 (1)	100 (1)	100 (1)
	指標	外国語指導助手の小・中接続のための研修・交流への参加率（実施回数）	% (回)			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	国際教育A L T事業 【A】	<p>【成果】 8月に5名増員することで、中学校は全12校にA L Tの配置を完了し、13名体制で各校の巡回指導を行い、外国語・英語の授業や学校生活においてA L Tと関わる機会を増加させることができた。また、長崎大学の中村典夫氏を招聘した公開授業では、A L Tとのチームティーチングの授業力向上に係る研修を行い、小・中英語教育の円滑な接続につながった。</p> <p>【課題と対策】 A L Tの生活・仕事・休暇の取り方等について、文化的背景による考えの違いが生じており、日本での生活について丁寧に説明しながら理解を求めていく必要がある。</p>			

Action	今後の事務事業の改善案
<p>令和7年度も中学校区数の12名体制を維持し、外国語・英語の授業での活用はもちろんのこと、体育・図画工作等の技能教科などでもALTを積極的に活用し、児童生徒がALTと関わり英語に触れる機会を確保する。また、大学教授によるALTの効果的な活用と日本人教師の外国語授業の指導力向上に取り組む。</p> <p>新規採用のALTについては、就業規則等の事前説明を行い、月1回のミーティングやメール等で困りごとを確認し、必要に応じてCIR（国際交流員）の協力も得ながらALTの生活支援を行う。</p>	

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	学校ICT推進事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】				
事業概要	情報教育の推進とICT環境整備を計画的に進める。				
対象	教職員、児童、生徒				
意図（目標）	ICT機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童生徒に分かりやすい授業を提供し学力向上を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	ICT支援員の配置			382	380	360
	指標	ICT支援員の活動時間	時間			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	ICT支援員の配置 【A】	【成果】 ICT支援員の配置により、ICT機器の操作支援やトラブル対応が円滑に行われ、教職員の負担が軽減された。また、GIGA端末を活用した授業も円滑に実施できるようになり、授業に専念できる環境も整い、ICT支援員の活動時間も減少した。			
		【課題と対策】 令和8年度から端末がiPadに変更となるため、改めてICT支援員に対する研修を行い、サポート体制を整備する必要がある。			

Action	今後の事務事業の改善案				
<p>校内における端末の活用を推進するため、各校にWi-Fi設置場所希望調査を行い、体育等の授業で要望の多かった体育館に令和7年度から8年度にかけてWi-Fi環境を整備する。</p> <p>ICT支援員についても、文部科学省が示す4校に1人の配置基準を目標として関係事業者と協議を行い、サポート体制の充実に努めていく。</p>					

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】				
事業概要	・佐渡市子ども安全応援隊員（スクールガード・リーダー）の依頼 ・佐渡市子ども安全応援隊員による通学路の見回り（8時間/月）				
対象	児童				
意図（目標）	児童が安心して登下校できる環境づくりを行う。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
通学路点検の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				
防災教育の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			12	15	11
	指標	スクールガードリーダー数	人			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 【B】	<b>【成果】</b> 通学路巡回により危険箇所を把握し、学校と情報共有することで学校危機管理マニュアルの見直しなど、防犯や災害時に備える取組に寄与した。 <b>【課題と対策】</b> スクールガードリーダーの人材確保が課題であり、未配置地区の解消に向けて学校運営協議会等と連携し、人材確保に努める。			

Action	今後の事務事業の改善案				
各学校運営協議会に児童生徒の安全確保をテーマに取り上げることや、スクールガードリーダーの人材確保等への協力を求めていく。					

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	心の教育支援事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策9 安心して学べる学校づくり】				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の教室相談員事業（中学校5校に6名の相談員を配置）</li> <li>不登校児童生徒訪問指導事業（不登校児童生徒の家庭を訪問）</li> <li>適応指導教室運営事業（あすなる教室の運営、いじめ不登校電話相談）</li> </ul>				
対象	教職員、児童、生徒				
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりを支援する。</li> <li>不登校児童生徒への的確な対応を進めるため、新潟県が示す「子どもとともに1・2・3運動」佐渡市共通の「心の健康チェック」の活用を徹底するとともに、適応指導教室や訪問相談員との連携を進める。</li> </ul>				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度(評価年度)	
算式	指標の算式			目標値	実績値
いじめの解消率（小・中）					
算式	いじめ解消数/いじめ発生数 A:100% B:80% 以下の2要件を満たしたものを「解消」とする。（文科省が示した指針） いじめに係る行為が少なくとも3か月止んでいること 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと		%	86.3 【B】 (R6.7月末)	100 【B】 (R7.7月末)
不登校児童生徒の割合（小・中）					
算式	不登校児童生徒数/児童生徒数 A:目標達成 B:全国平均以下 C:A・Bに至らない		%	小1.42 【B】 中6.14 【C】	小1.3 【C】 中5.72 【B】
安全・安心な学校づくり（小・中）					
算式	「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童生徒の割合。全国学力・学習状況調査児童生徒質問から算出する。		%	小88.7 中82.5	小中 100 【B】 中82.4 【B】

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度(評価年度)	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	「心の教室相談員」事業			387	300	455
	指標	相談員1名当たりの相談生徒延べ人数 A:300人 B:240人	人			
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業			41.7	60.0	49.5
	指標	欠席日数減少者数/前年度不登校者数 A:60% B:40%	%			
3	「心の健康チェック」推進支援事業			1.38	1.00	3.51
	指標	新規不登校者数/児童生徒数 目標値は前年度の実績値をもとに算出する。 R5 A:0.8%以下 B:1.5%以下 R6 A:1.0%以下 B:1.6%以下	%			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	「心の教室相談員」事業 【A】	<p>【成果】 いじめの早期発見、孤立しそうな子どもや不安定な様子が見られる子どもの心の居場所として大きな効果があった。加えて指導に迷う教員や保護者からの相談に対応し、学校組織としての指導力向上に大きく寄与した。</p> <p>【課題と対策】 相談員と学校が共通理解のもと対応できるよう、日頃から情報共有に努めていく必要がある。</p>
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業 【B】	<p>【成果】 不登校訪問指導員の訪問や適応指導教室の利用により、再登校できるようになった児童生徒が見られた。</p> <p>【課題と対策】 令和6年度は、不登校児童生徒に占める新規発生者の割合が50%を超え、特に小学校でその傾向が強い。特に小学校で不登校になった場合は長期化することや、効果的な対策が取りにくくなるケースも数多く見られた。</p> <p>令和7年度は、これまで以上に不登校の早い段階で関係機関等と関わりを持ち、その後の支援策を学校側に提示できるように努める。</p>
3	「心の健康チェック」推進支援事業 【C】	<p>【成果】 「心の健康チェック」アンケートを毎月タブレットで実施し、気になる児童生徒を学校と共有することができた。学校側も、回覧や生徒指導部会等を通して、日常的に観察や情報共有をすることができた。</p> <p>【課題と対策】 アンケート実施と実態把握に時間差があり、タイムリーな指導が困難な状況がある。令和7年度からは「心の健康観察アプリLEBER」を活用して児童生徒の支援に努める。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	児童生徒の心の変化を継続的に調査する「心の健康チェック」については、令和7年度から「心の健康観察アプリLEBER」を導入し、即時把握と即時支援につなげて、いじめや不登校を生まない居心地よい学校づくりに取り組む。

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	総合教育センター事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策 10 大学や研究機関を活用した教育】				
事業概要	教員の研修講座を開催する。（基本研修、課題別研修、自主研修他）				
対象	教員、児童、生徒				
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や研究機関と連携し、その関連施設や職員を活用した教育活動例について小中学校等に提案する。</li> <li>・ICT等のシステムを活用し、遠隔地の大学や研究機関と教員研修を中心とした交流を進める。</li> </ul>				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）		%	82.9 【B】	90	80.0 【B】
算式	実施小中学校数 / 市小中学校数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	学習意欲向上プロジェクト			12	13	11
	指標	実施学校区数	校			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	学習意欲向上プロジェクト （「研修支援事業」） 【B】	<b>【成果】</b> 「先進地視察」は県内・県外と4地区で実施、「講師招聘」は7地区で実施した。 <b>【課題と対策】</b> 計画的に研修を実施することができない地区があるため、進捗状況を確認して計画的な実施につながるよう指導を行う。			

Action	今後の事務事業の改善案				
令和7年度も本事業を「研修支援事業」として継続する。予算内で講師招聘と島外視察の併用を認め、中学校区のニーズに合った研修を行う。					

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名	市立学校等人材育成事業				
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策 11 大学・大学生等との交流】				
事業概要	市立小・中学校、高等学校等が市内の人材や地域性を活かした教育活動によりキャリア発達を促進し、将来を担い、地域社会の発展に貢献する児童・生徒の育成を目的とした事業の経費を支援する。				
対象	児童、生徒				
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学関係者や大学生等と市内小中学校、高等学校が交流する教育活動を奨励する。</li> <li>・市内高等学校と連携し、児童生徒の視察研修を支援する。</li> </ul>				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）			%	37.1 【C】	50
算式	大学・大学生等と交流した学校数 / 全小・中学校数 評価基準 50%以上:A、40%以上:B（R5より）				
海外研修支援の件数			件	-	1
算式	海外研修支援の件数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供			2	2	2
	指標	校長会における情報提供の回数	回			
2	佐渡地区高校生海外訪問			-	5	5
	指標	参加生徒数	人			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供 【A】	【成果】 脱炭素プロジェクトや地域未来塾を通じて、大学生との学習機会につながった。 【課題と対策】 各校において実施している大学等と連携した教育活動の情報を収集し、その効果を共有する。			
		【成果】 佐渡地区高校生のアメリカ海外研修を実施し、英語を通じた異国での学習はもちろん、海外文化に触れる貴重な機会となった。 【課題と対策】 海外研修に参加した生徒の学びを他の生徒とも共有し、学びを還元できるようにする。			
2	佐渡地区高校生海外訪問 【A】	【成果】 佐渡地区高校生のアメリカ海外研修を実施し、英語を通じた異国での学習はもちろん、海外文化に触れる貴重な機会となった。 【課題と対策】 海外研修に参加した生徒の学びを他の生徒とも共有し、学びを還元できるようにする。			

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
<p>視察研修の実施は、対象を中学生にも拡大するとともに、本市に来訪する海外学生との交流機会を創出することで、文化交流の推進に努める。</p> <p>また、地域未来塾の参加学年を広げ、開始期間を早め事業を拡充し、中学生の学習意欲の向上を図っていく。</p>	

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	生涯学習事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】				
事業概要	市民が趣味や教養を高める等、自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができ、又、活動の継続が図れるよう各種学習の機会を提供する。				
対象	市民				
意図（目標）	人と人との学び合いやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人一人の人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値
生涯学習事業参加者		人	15,131	15,000	15,835
算式	生涯学習事業参加者数		【A】		

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値
1	市民大学講座			633	700	460
	指標	市民大学講座受講者数（講座数）	人			
2	高齢者学級			1,386	1,400	1,406
	指標	高齢者学級参加者数	人			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	市民大学講座 【C】	<p>【成果】 目標値を下回ったが、若い世代に興味を持ってもらえるよう、裂き織や交響楽といった、過去に開催したことがない新しい講座内容を提供し、若い世代を取り入れることができた。</p> <p>【課題と対策】 受講者の固定化や新規受講者の減少が課題である。また、講座開設会場から遠方地区に在住している方が参加しやすいように、サテライト会場を相川、羽茂のほか、新規で2会場（両津・赤泊）増やしたが、サテライト会場についても参加者数が伸びていない。（相川延べ26人、羽茂延べ37人、両津延べ31人、赤泊延べ14人） 新規の受講者を獲得できるよう、講座内容について、受講者のアンケートを参考にし、時代のニーズに沿った内容を計画する必要がある。</p>			

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	高齢者学級 【A】	<p>【成果】</p> <p>参加者数は前年度に比べて増え、目標値を達成することができた。高齢者を対象に、学習の場 10 地区の公民館で計 100 回開催し、生活上の課題等を考え、仲間づくりや健康づくりについて取り組みながら、生きがいを見つけてもらう場を提供した。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>参加者の固定化や新規参加者の減少が課題である。多くの高齢者に、興味を持ってもらえるような講座内容を計画し、楽しみながら教室に参加し、生きがいを見つけてもらえるような場を提供する。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>生涯学習の理念に基づき、家庭教育、青少年教育、高齢者学級等、様々な世代を対象にした講座の開催に取り組んでいく。</p> <p>各種事業内容については、アンケート調査を実施し、参加者の要望を講座等に取り入れ、時代のニーズに沿った講座内容を開催する。</p> <p>また、市民大学講座では、YouTube配信を行い、どこにいても、いつでも学習できる機会を提供する。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	公民館活動推進事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】				
事業概要	公民館講座を開催し、市民の学習意欲を高めるとともに、成果の発表の場として、各地区で芸能祭や文化祭を市民協働により開催する。				
対象	市民				
意図（目標）	交流・学習の機会を作り、市民の学習意欲を高めるとともに、地域や参加者の協働精神を醸成する。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式		目標値	実績値	
公民館利用者数		万人	15.3	18.0	14.4
算式	公民館利用者数		【B】		

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	事務事業を構成する主な細事業			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	登録自主講座			257	270	260
	指標	登録自主講座数	件			
2	公民館講座			29	27	31
	指標	公民館講座数	件			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	登録自主講座 【B】	<p>【成果】 前年度に比べると講座数は増えたが、目標値は下回った。しかし、趣味や生きがいづくりにつながるピラティス講座やアロマ講座等、新たな講座が増え、心と身体の健康づくりへとつなげることができた。</p> <p>【課題と対策】 指導者不足や高齢化、今後ますます人口が減少することで、これまでと同じような数の自主講座の開設が難しいことから、公民館講座等で数年かけて後継者育成等を行い自主講座で活動できるよう進めて行く。</p>			
	公民館講座 【A】	<p>【成果】 目標値を達成することができた。市民からの希望で、趣味や生きがいづくりにつながる魚さばき講座や美容講座、木版画講座やタブレット講座等を開設し、心と身体の健康づくりへとつなげることができた。</p> <p>【課題と対策】 学習機会の創出は行っているが、受講生の固定化、開設講座の固定化がみえる。市民からもっと興味を持ってもらい、新規の受講生を獲得できるよう、必要課題、要求課題に基づいて講座を開設する必要がある。また、公民館講座として3年経過した講座は、自主講座で活動できるよう薦めて行く必要がある。</p>			

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>市民の交流・学習機会を提供し、地域や参加者の協働精神を醸成するために、毎年開講している講座だけでなく、佐渡市として進める必要がある伝統文化や芸術振興に関する講座や時代のニーズに対応した新たな講座を開催し、新規参加者の獲得、後継者の育成を進める。</p> <p>また、公民館講座として定着したものについては自主講座への移行を薦め、市民が自立して生涯学習を実践できる仕組みづくりを進める。</p> <p>受講生の成果発表の場として芸能祭・文化祭を開催し、参加者の生きがいづくりや心と身体 の健康づくりを推進する。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	スポーツ推進事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策13 スポーツの推進】				
事業概要	スポーツ推進審議会運営事業、スポーツ指導者講習会開催事業、スポーツ大会・教室等運営事業、スポーツ少年団支援事業等、市民のスポーツ推進のための企画、運営、指導、助言を行うとともに、スポーツ競技団体の育成、関係団体の組織体制強化を進める。				
対象	市民				
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者までのさまざまなニーズに対応できるスポーツ環境の充実を図る。</li> <li>・スポーツを通じて世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築く。</li> <li>・スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図る。</li> </ul>				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
体育施設利用者数		万人	40.5	51.1	42.0
算式	体育施設利用者数		【C】		【B】

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	スポーツ教室等開催事業			2,429 (178回)	3,000 (180回)	2,381 (183回)
	指標	参加者数（開催数）	人 (回)			
2	地域クラブ活動実施事業			228 (7回)	270 (21回)	334 (21回)
	指標	参加者数（開催数） 参加者はスキップ型参加生徒数及びエン ジョイ型の参加延べ人数の合計	人 (回)			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	スポーツ教室等開催事業 【B】	<p>【成果】 親子スポーツ教室、ウォーキングや筋トレ・ヨガ・ストレッチ等のエクササイズ教室など、日頃、スポーツをしていない人も気軽に参加できる教室を全10地区で計183回実施した。参加者は前年とほぼ同数の実績となった。</p> <p>【課題と対策】 全10地区での実施は3年目となったが、前年と同じ内容で参加者が少なかった教室もあった。新しい種目を導入することや、内容を検証して魅力あるメニューを提供することで、多くの方から参加していただけるよう取り組んで行く。</p>			

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	地域クラブ活動実施事業  <b>【A】</b>	<p><b>【成果】</b>            休日の中学校部活動の地域展開を見据え、「スキップ型」及び「エンジョイ型」の地域クラブ活動を計21回実施し、334名(スキップ型238名、エンジョイ型96名)が参加した。            スキップ型では、学校部活動にある種目に通年で取り組み、エンジョイ型では、ダンスやマリンスポーツ、SEA(スポーツ国際交流員)の指導による野球等の多様な活動を展開し、自由な参加機会を創出した。            また、6年度に課題とされた周知不足の対策として、ポスターの刷新(申込フォーム付き)、地域番組(サドテレビ)での特集放映、教育委員会YouTubeでの活動紹介動画の配信、「地域クラブ活動たより」の発行、小学5・6年生対象の体験会の開催(参加者34名)など、多方面からの広報・啓発を実施した。これらの取組により、活動の認知度や参加のしやすさが一定程度改善された。</p> <p><b>【課題と対策】</b>            広報の工夫により改善の兆しは見られたものの、活動種目によっては申込が集中する一方で、参加者が少ない種目もあり、参加状況に差があった。また、エンジョイ型では、参加回数の個人差が大きく、継続的な関与につながりにくいケースも見受けられた。今後は、希望者数に応じた受入の工夫や、参加が継続しやすくする仕組みづくりを通じて、活動の柔軟性と定着を高めていく必要がある。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>成人のスポーツ実施率や子どもの体力の低下、高齢者の健康対策が指摘される中、年代に応じたスポーツ活動を行うきっかけをつくり、一層のスポーツ推進を図る必要があることから、佐渡市スポーツ推進委員協議会、(一財)佐渡市スポーツ協会、地区スポーツ協会と連携し、佐渡市スポーツ推進計画に基づき事業を展開する。また、指導者講習会の実施や、指導者の資格取得を支援することで、世代に応じて必要とされる運動指導の専門人材を育成し、提供メニューの充実を図るとともに、市内で開催されるスポーツ行事や指導者等の情報を広く提供することで、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。地域クラブ活動は体験会の成果を受けて、エンジョイ型は小学5・6年生も参加対象とし、広い世代への魅力の発信と世代間交流にもつなげていく。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	読書推進事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 14 佐渡の人づくりを支える、地域の学びの拠点としての図書館運営】				
事業概要	図書館サービスの一環として、各種催しを行う。 ・ブックスタート事業・育児支援活動 ・子ども読書レベルアップ研修ほか各種事業実施 ・保育園、小学校、中学校、高等学校との連携（団体貸出他） ・図書館間相互貸借事業（県立図書館、新潟大学附属図書館、各公共図書館） ・幼児期から高齢者までを対象とした読書推進活動の実施				
対象	市民				
意図（目標）	・幼児期から高齢者まで本に親しんでもらうために、おはなし会や読書週間に多彩な事業を展開する。また、図書館から遠い地域に移動図書館車を運行し、読書の推進を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
図書館・図書室の来館者数		万人	13.6	15.0	13.9
算式	図書館・図書室への延来館者数		【B】		

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	読書推進事業			371,822	360,000	376,599
	指標	蔵書冊数	冊			
2	図書館間相互貸借事業			1,176	1,900	944
	指標	市外図書館等からの借受冊数	冊			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	読書推進事業 【A】	<p><b>【成果】</b> 令和6年度は、佐渡市の図書館・図書室全体で新たに9,222冊の図書を登録し、図書のみならず、雑誌・AV等の貸出等を行うことで、読書活動や個人の学習活動の支援につなげることができた。 特に、多様な図書館行事やイベントを開催したことで、参加人数は2,984人となり、前年度よりも1,199人増加し、多くの方から図書館に訪れる事業推進が図れた。</p> <p>&lt;主なイベント&gt; 5/26「本の対談」 日本の出版業界のトップランナー（平凡社会長、柏書房社長、筑摩書房社長、図書館流通センター社長）を招き、「一冊の本との出会い」をテーマに対談いただいた。 11/9「しんらしんげ氏のあたまのなか」 紙工作作家、(YouTubeフォロワー数44万人)を招き、講演とワークショップを開催した。 また、図書館見学・職場体験においても、参加人数は686人となり、前年度比較で359人も増加となった。 図書館、図書室の来館者数は139,351人となり、前年度比較で102%、3,135人増加となっている。</p> <p><b>【課題と対策】</b> 図書の貸出において、前年度比較で個人貸出が1,897冊の減、団体貸出が2,223冊の減と共に減少となっている。人口減少も要因の一つであると考え、来館者は増加しているため、特設展の充実等により、来館した方が本を借りたくなる工夫を図る。</p>
2	図書館間相互貸借事業 【C】	<p><b>【成果】</b> 新潟大学、県立図書館は、専門書・論文等の蔵書を多数所蔵しており、無料で相互貸借可能となっているため、市内図書館に所蔵していない専門書等の借受を希望する方に対して、窓口で相互貸借の案内等を行っており、サービス内容が浸透してきている。 令和6年度は、「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で100冊を借り受け、利用者に提供することができた。</p> <p><b>【課題と対策】</b> 令和6年度の相互貸借の目標値1,900に対し、実績が944と乖離しているのは、目標設定が高すぎたことや、佐渡市の図書館の蔵書が充実したことが考えられる。 今後、適正な目標設定に努めるとともに、利用者のニーズ把握と、ニーズに合った資料を提供できるよう情報収集や職員のスキルアップに努めたい。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>図書館、図書室の求められる役割は、子どもたちの学習環境整備、高齢者支援、障がい者支援、レファレンス機能、電子書籍等多様化している。</p> <p>令和7年度中には、子育て支援機能を有した、さわた図書館もリニューアルオープンする予定で、絵本、児童書、育児書の充実や、親子で読み聞かせ等ゆっくり過ごせる図書館として、市民の子育て支援を推進していく。</p> <p>今後、各図書館、図書室の特色を出す中で、より市民の方から多様なニーズに対応できる図書館運営を推進していく。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	博物館・資料館管理運営事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】				
事業概要	佐渡の歴史・文化・自然の調査研究と普及啓発活動を円滑に進める。				
対象	市民、国内外の観光客等				
意図（目標）	来館者に佐渡の歴史・文化・自然に対する理解を深めてもらう。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
博物館・資料館及び類似する文化施設の来館者数		人	44,464 【C】	51,850	47,084 【B】
算式	来館者数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	佐渡博物館特別展事業			5,917	6,200	6,375
	指標	特別展開催期間中入館者数	人			
2	イベント・体験事業・出前授業			974	1,500	2,006
	指標	参加者数	人			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	佐渡博物館特別展事業 【A】	<p>【成果】</p> <p>令和6年度は世界遺産登録を受け、佐渡博物館では展示内容を金銀山や佐渡関連の展示に変更し、3,471名の来館者があった。佐渡植物園では「山野草展」や「雪割展」等の企画展を4回開催し、740名の来館者があった。また、新穂歴史民俗資料館では地元や自然に関連した企画展を5回開催し、2,164名の来場者があった。</p> <p>各館において、佐渡の歴史や文化、自然への理解を深め、また佐渡の魅力の発信に繋げることができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>一部の施設では集客数が伸び悩んでいるため、各館の特色を活かした魅力的な企画展を開催し、来館者の増加につなげる。また、市民や旅行者へ佐渡全体の博物館を広く周知するため、デジタル広報やSNSでの情報発信を強化する。</p>			

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	イベント・体験事業 <b>【A】</b>	<b>【成果】</b> 佐渡博物館では「ジュニア学芸員養成講座」や「博物館カフェ」、「研究ノート報告会」等を開催し、参加者アンケートでも内容の満足度が高かった。さらに、両津郷土博物館では「地域を探る 加茂湖ものがたり」、佐渡国小木民俗博物館では「サツマイモ教室」等を開催し、各博物館で独自のイベントを開催し、多数の参加者があった。その他にも、出前事業や職場体験、博物館実習等で博物館業務の体験や周知に取り組んだ。 <b>【課題と対策】</b> 参加者の満足度はおおむね高かったが、アンケート等による参加者の意見を参考にしながら、より満足度の高い事業にしていく。

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>来館者を増やすため観光を意識した博物館運営や市民のリピーターを増やすような取り組みをする必要がある。そのために島内各館がそれぞれの特色を改めて確認し、事業を展開する。</p> <p>出前授業では学校授業と連携した内容を検討し、学校へ出向くだけでなく、博物館へ来てもらい博物館の資料に触れる機会を作るなど、博物館へ関心をもってもらおう。</p> <p>SNSを活用し、博物館事業の情報を発信することで、島内外の方へ博物館の事業を認識してもらおう。企画展や公民館事業への協力を通して、地域と連携した活動を増やす。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課		
事務事業名	世界遺産登録推進事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】				
事業概要	・佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を活用した普及啓発事業 ・市民参加型の各種普及啓発事業（講演会、出前授業・出前講座など）				
対象	市民				
意図（目標）	市民の郷土への誇りや文化財保護意識の強化につなげるとともに、世界遺産登録に向けた市民意識の醸成を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数		人	640 【A】	400	3,142 【A】
算式	参加者数				
世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数		件	54 【A】	45	55 【A】
算式	件数				

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業			640	400	3,142
	指標	参加者数	人			
2	世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等			54	45	55
	指標	件数	件			
3	世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等			1,387	1,200	1,391
	指標	参加者数	人			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	佐渡金銀山ガイド ス施設「きらりうむ 佐渡」を会場とする 普及啓発事業  【A】	<p>【成果】</p> <p>「佐渡島の金山」の世界遺産登録を契機として、佐渡金銀山の普及啓発事業を計画的に実施し、市民の佐渡金銀山への興味や関心を高めると共に歴史的価値に対する理解を深めることができた。</p> <p>特に、登録祈念の七イベントには、多くの世代から多数参加いただき、新たな支援層の獲得につながった。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>「きらりうむ佐渡」を世界遺産関連施設として認知度を向上させ、展示室の観覧者数の増加につなげるため、市民が気軽に参加できる普及啓発事業や物販・ワークショップなどの催事と連携した企画を実施するとともに、展示室の初心者向け解説会等、市民への学習の機会を幅広く提供する。</p>
2	世界遺産を目指す佐 渡金銀山をテーマと した講演会・講座等  【A】	<p>【成果】</p> <p>市民の佐渡金銀山への興味や関心を高めると共に、歴史的価値に対する理解を深めることができた。令和6年、「佐渡島(さど)の金山」が世界遺産に登録され、これを契機に、市内企業・団体・集落への出前講座の利用が前年に引き続き伸びていることは成果といえる。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>佐渡金銀山を保存・活用していくための市民意識を醸成するため、「佐渡島(さど)の金山」の世界遺産登録を契機に、佐渡金銀山の清掃ボランティア活動や現地学習会の開催等、歴史に直接触れ、参加者の知的好奇心を高める教育事業を継続する。なお、講座等の開催に当たって小学生から高齢者まで各世代に対応したテーマによる講義を行う。</p> <p>また、佐渡金銀山の世界遺産としての文化的価値を発信するため、インターネットを活用した情報発信も積極的に進める。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>「佐渡島(さど)の金山」の世界遺産登録を契機に、佐渡金銀山を未来に継承する保全活動に取り組む担い手を育成するため、小・中学生向けの教材(副読本)内容を更新し、ワークシートと共に令和7年度に島内小中学校へ配布するほか、若年層への教育活動や幅広い世代・地域への情報発信を行う。</p> <p>また、引き続き、初心者向けの講座、現地学習会などの普及啓発事業の実施により、佐渡金銀山の価値の発信や市民の保存・活用の意識の醸成を図る。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	ジオパーク推進事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等啓発普及運営事業</li> <li>・市民講座・親子体験</li> <li>・地域説明会・サイト保全</li> <li>・推進協議会運営事業（構想、方向性、実施計画等の策定）</li> <li>・講演会・シンポジウム・出前授業等</li> <li>・ジオパークガイド養成事業</li> <li>・調査研究事業</li> </ul>				
対象	市民、教育旅行等の学生、国内外の観光客等				
意図（目標）	島に残る貴重な地質遺産などを市民講座や学校・PTA行事等で周知し、住民同士や観光客との交流を通して理解してもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
ジオパーク推進事業に携わった人数		人	6,197 【A】	6,000	4,688 【C】
算式	人数				

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	市民等啓発普及運営事業			1,230	2,000	783
	指標	市民講座や地域説明会に参加した人数	人			
2	講演会・シンポジウム・出前授業等			2,984	3,000	2,755
	指標	講演会やシンポジウムに参加した人数	人			
3	ジオパークガイド養成事業			104	200	114
	指標	ガイドの養成・研修会に参加した人数	人			

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価			
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	市民等啓発普及運営事業 【C】	<p>【成果】 悪天候による中止が3回あり、参加人数が計画より減少したが、アクティビティを体験しながらジオパークについて学ぶ市民講座を開催し、新たな視点で佐渡ジオパークの魅力を知ってもらうことができた。 地域説明会では、地域の地形を活用した文化や歴史を紹介することで、郷土愛に対する意識を育むことができた。</p> <p>【課題と対策】 引き続き、積極的に佐渡ジオパークや佐渡の成り立ちを紹介する地域説明会を開催し、市民が地域の魅力や価値に気付き、誇りと保護保全の意識を持てるよう取組を進めて行く。 集落からの出前講座依頼が減少しているため、周知の手段を検討する。</p>			

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	講演会・シンポジウム・出前授業等 【B】	<p>【成果】</p> <p>小・中・高等学校から教育としてのジオパークが認知され、総合学習の時間等を利用し、ジオパークから佐渡の成り立ちを学び、郷土愛の醸成を図ることができた。</p> <p>また、佐渡ジオパークフォーラムでは、有識者から佐渡について調査研究の成果を発表してもらい、新たな価値を発信することができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>会場に来場する方法とオンラインの両方で開催するなど、ジオパークに関する講演会や学習の機会を増やし、ジオパークへの興味・関心を高めていく。</p>
3	ジオパークガイド養成事業 【B】	<p>【成果】</p> <p>ジオパークの啓発や普及を図る人材確保のため、令和6年度は、ジオパークガイド養成講座の受講期間を広げ、参加しやすい環境を整えた。定員も15名から8名に限定することで、一人一人に丁寧な指導を行った結果、準ガイドの申請割合が前年度に比べ増加した。</p> <p>ジオパークの知識はもとより、実践的なガイドのポイントを指導することで効率的に養成することができた。</p> <p>既存ガイドには、外国人とのコミュニケーション能力を高めるため自主研修会も行い、ガイドのスキル向上につなげることができた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>来訪者に対して地質・地形に限らず、世界文化遺産や世界農業遺産を含めた歴史・文化を語れるガイドの育成を進める。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>佐渡ジオパーク推進協議会を推進母体として、「第3次佐渡ジオパーク基本計画」に基づき、「楽しむ」「学ぶ」「守る」を柱に活動を進める。</p> <p>佐渡の文化・歴史・自然と人々の暮らしと、ジオパーク・世界文化遺産・世界農業遺産の3資産との関連を活かしたツアーを実施し、佐渡が誇る3資産の魅力を伝える。また、それを元に、教育旅行用のコンテンツの洗い出しを行い、商品化することで交流人口の拡大を図る。</p> <p>学校での出前授業や県内ジオパーク子どもの交流事業など子どもの頃からジオパークに慣れ親しんでもらいジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課		
事務事業名	埋蔵文化財調査保存事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】				
事業概要	埋蔵文化財である遺跡・出土遺物等を適切に調査・保存・管理することに併せ、その活用を図る。				
対象	各種遺跡				
意図（目標）	遺跡・出土遺物等の適切な調査・保存・管理及び活用を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
埋蔵文化財出前授業の件数		件	18 【A】	18	20 【A】
算式	実施件数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	小・中学校への出前授業実施事業			18	18	小学校 17 中学校 3
	指標	実施件数	件			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	小・中学校への出前授業実施事業 【A】	<p>【成果】 目標件数を達成することができ、なおかつ小学生が出前授業の内容に興味を示し、意欲的に参加してくれた。</p> <p>【課題と対策】 学校へさらなる啓発を図る方策を考え、かつ指導者の育成及び確保を図ることが課題としてあげられる。</p>				

Action	今後の事務事業の改善案				
<p>遺跡の適切な調査と出土遺物の保存・管理を図ると共に、小・中学校への出前授業や体験学習などの埋蔵文化財を活用した事業を継続するだけでなく、市内を代表する国史跡である長者ヶ平遺跡出土品を中心とした縄文時代の特別展や講演会を開催するなど、市民の文化財保護意識の醸成に向けた取組を進める。</p>					

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課		
事務事業名	②有形文化財保存活用事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】				
事業概要	市内指定文化財のうち、有形文化財の適切な保護・保存及び活用を図るため、所有者等が行う修理及び活用に係る経費を支援する。				
対象	有形の指定文化財				
意図（目標）	有形の指定文化財を保護し、後世に残すとともに、その貴重な文化財の活用を促進する。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
国県市指定の有形文化財所有者等へ適切な保存管理について周知し必要に応じて支援する。		%	80 【A】	100	88 【B】
算式	支援要望に対する支援対応割合				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	指定文化財助成事業			4	6	7
	指標	助成件数	件			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	指定文化財助成事業 【A】	<p>【成果】</p> <p>市内に所在する国県市指定有形文化財176件のうち、緊急性の高いものから順次、継続して修理費用を助成することにより、経年劣化した指定文化財を修復することができた。また、文化財の現状や修理要望等を把握するため、所有者との意見交換や現場確認を適宜行った。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>社会環境の変化により、所有者と行政の力だけでは指定文化財を保存し、継承することが困難になっている。</p> <p>所有者の財政的負担を軽減するため、補助事業制度やクラウドファンディング制度の周知徹底を図る。</p>			

Action	今後の事務事業の改善案				
<p>所有者への助成事業等の支援制度紹介に併せて、指定文化財の現況について意見交換や現地確認を行う。</p> <p>所有者等による日常の適切な維持管理が、文化財の経年劣化の進行を遅らせるために必要であることを周知する。</p> <p>文化財の保存活用にむけた活動を支援するため、助成事業を継続する。</p>					

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	②芸術事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 16 文化・芸術の振興】				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のさらなる創作意欲の喚起を図り、芸術、文化の振興に寄与するため、市展を開催する。</li> <li>・人間市写真連盟との交流により写真作品の相互展示を行う。</li> </ul>				
対象	市民、高校生等				
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが芸術、文化に親しみ、文化活動に参加し担い手となるよう、さまざまな文化事業等を充実させる。</li> <li>・個人や団体が、連携、交流、協力できるよう、活動の場や機会の拡充に努める。</li> </ul>				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
市展出品点数		点	1,155 【B】	1,350	1,124 【B】
算式	出品点数				

Do		事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	市展運営事業			3,225	3,500	3,013
	指標	入場者数（会期入場者数）	人			
2	市展出品数増加（一般の部）			108	300	160
	指標	一般の部出品数	品			
3	市展出品数増加（ジュニアの部）			1,047	1,050	964
	指標	ジュニアの部出品数	品			

Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市展運営事業 【B】	<p>【成果】 5年度に比べ入場者数が下回り、目標値を達成できなかったが、入場者数を増やす取組として、特別展等を開催し、内容の充実を図った。</p> <p>【課題と対策】 入場者数が増えるよう実行委員と話し合いをしながら、工夫を凝らしているが、伸び悩んでいる。 市民に興味を持ってもらえるような特別展を企画し、入場者が増えるようポスターだけでなく、佐渡市公式LINE等を使用し、宣伝を行う。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	市展出品数増加 (一般の部) 【C】	<p>【成果】 出品者の高齢化、固定化等により、目標数は大きく下回ったが、昨年度よりは出品数は増えた。</p> <p>【課題と対策】 新規の出品者を獲得できるよう地区公民館講座参加者、地区文化祭出品者にも出品を促していく。また、出品履歴があり近年出品していない方等にも、出品依頼をし、作品数の増加を目指す。</p>
3	市展出品数増加 (ジュニアの部) 【B】	<p>【成果】 児童生徒数の減少により、目標値を下回ったが、出品したことがなかった学校の出品があった。</p> <p>【課題と対策】 学校の美術・図工の進捗状況によって出品できない学校があるので、より多くの学校に出品いただけるよう、早目に周知や案内を行っていく。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>減少傾向にある市展の出品点数を維持するため、これまで出品していただいていた方々の創作意欲の維持・向上や新規の出品者を獲得できるよう、出品しやすい仕組みづくりについて実行委員会で検討する。特にジュニアの部は年々出品点数が減少しており、小中学校から出品いただけるよう、学校への案内方法を工夫する。</p> <p>また、誰もが気軽に芸術にふれ、興味を持ってもらえるよう、社会教育課主催の講座にて、芸術関係の内容を開催し、その方々を新規作品出品者へと繋げて行く。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	②佐渡学推進事業				
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進				
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策16 文化・芸術の振興】				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能を中心とした無形文化財の保存及び担い手育成を進め、市民や文化団体等の活動の活性化を図る。</li> <li>・令和4年策定の「佐渡市文化振興ビジョン」に基づき事業を推進する。</li> </ul>				
対象	市民、文化団体等				
意図（目標）	・市のアイデンティティである貴重な文化を保存継承するため、担い手となる人材を育成する。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
佐渡民謡団体の活性化		人	407 【B】	500	400 【B】
算式	佐渡民謡団体の団員数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	無形文化担い手育成事業（佐渡文化財団）			43	44	34
	指標	学校等への講師派遣・楽器貸出件数	件			
2	文化発信イベントの開催（民謡祝祭・鈍翁茶会）			650	800	700
	指標	民謡の祝祭イベントの来客数	人			
3	伝統芸能継承者育成活動の推進			0	2	0
	指標	伝統芸能継承事業補助金を活用した取組数	件			
4	地域クラブ活動実施事業（文化活動）			62 (7回)	130 (21回)	175 (21回)
	指標	参加者数（開催数） 参加者はスキップ型参加生徒数及びエン ジョイ型の参加型延べ人数の合計	人 (回)			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	無形文化担い手育成事業（佐渡文化財団） <b>【B】</b>	<p><b>【成果】</b>            成果指標としている学校等への講師派遣・楽器貸出件数については目標値に届かなかったものの、（一財）佐渡文化財団に対し運営費の一部を補助することにより、文化の保存継承に向けた芸能団体の現状把握調査をベースとしつつ、無形文化の担い手育成につながる文化財団主催のワークショップの実施や「佐渡芸能と伝統食に触れてみる1日」をはじめとする上演の場の創出等を行った。            その結果、ワークショップでは延べ71人が参加し、上演の場の創出では延べ850人が伝統芸能を鑑賞し、芸能保存団体の意欲向上を図ることができた。さらに、人形芝居親子教室では2年連続で参加する児童が6人おり、担い手育成につながる成果があった。</p> <p><b>【課題と対策】</b>            芸能団体の現状把握調査や映像記録を今後も着実に進めると同時に、発表機会の確保として上演の場の創出を今後も進めていく必要がある。主に学校等への講師派遣、和楽器貸出等の取組において、依頼・利用状況が減少していることから、実態把握に努めるとともに、佐渡市地域クラブ活動での活用にも積極的に取り組んでいく。</p>
2	文化発信イベントの開催（民謡の祝祭・鈍翁茶会） <b>【B】</b>	<p><b>【成果】</b>            佐渡鈍翁茶会（来場者306人）            親子・お茶体験の実施や地域クラブ活動と連携し、92人がお茶文化に触れることができた。地域クラブ活動（茶道）の参加者が増えている。            佐渡民謡の祝祭（来場者700人）            佐渡民謡団体の団員数（実績値）としては減少しているものの、新規に22人が加入した。</p> <p><b>【課題と対策】</b>            イベントの定着化により一定の来場者は確保できつつあるため、今後は担い手の確保につながる機会となるよう取り組んでいく。</p>
3	伝統芸能継承者育成活動の推進 <b>【C】</b>	<p><b>【成果】</b>            「佐渡市伝統芸能継承事業補助金」の交付実績はなかった。</p> <p><b>【課題と対策】</b>            ニーズに合致していない可能性もあることから、要綱の見直しを含め検討する。</p>
4	地域クラブ活動実施事業（文化活動） <b>【A】</b>	<p><b>【成果】</b>            既存の部活動にはなく、佐渡の特色を活かした種目として人形芝居や裂き織りなどを用意し、これまで文化活動をしてこなかった生徒が佐渡の文化に親しむきっかけづくりにもなった。</p> <p><b>【課題と対策】</b>            今後も広く情報発信することで周知を図り、さらに多くの方が文化活動に親しむ機会が増えるよう取り組んでいく。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>「佐渡市文化振興ビジョン」に基づく各施策を一体的につなげることで文化振興を図る。            特に、無形文化担い手育成が重要であることから、佐渡文化財団が保有する和楽器について、地域クラブ活動の種目に設定している「民謡」「鬼太鼓」の活動において積極的に活用することで、伝統芸能に対する興味を向上させる。            芸能の上演の場の創出や文化発信イベントについては、引き続き、芸能保存団体等の意欲向上を図るため継続して実施し、さらに担い手の確保につなげられるよう、体験コーナーを開設し、実際に体験するきっかけづくりを行う。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	④青少年育成活動事業				
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実				
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う青少年が夢と希望をもって自立と自己実現を図れるよう、市民と行政機関が協働して育成していく環境づくりを進める。</li> <li>・市内13地区の青少年健全育成協議会の活動及び地域子ども会連絡協議会の活動を支援し、青少年の健全育成を図る。</li> </ul>				
対象	青少年				
意図（目標）	青少年の健全な育成を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
青少年健全育成事業参加者数		件	6,740 【C】	8,000	6,045 【C】
算式	青少年健全育成事業参加者数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	青少年健全育成組織支援事業			2,514	3,000	2,065
	指標	青少年健全育成協議会活動参加人数	人			
2	地域子ども会連絡協議会活動事業			4,226	5,000	3,980
	指標	地域子ども会連絡協議会活動参加人数	人			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	青少年健全育成組織支援事業 【C】	<p>【成果】 子どもの減少により目標値は下回ったが、公民館分館と合同で行事を行い、地域住民と関わる機会を設けたり、各地区で海岸清掃や料理作り等の体験イベントを開催したり、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>【課題と対策】 各協議会で、活動内容、地域団体や学校との連携体制に差があるため、今後も、関係機関と情報を共有し、課題解決に向けた活動を実施する。また、市民会議等で意見交換をしながら各地区とも連携を図り、活動をより活発にし、青少年の健全育成のため事業を行う。</p>			

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	地域子ども会連絡協議会活動事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>子どもの減少に伴う地域子ども会の加入数の減少により、参加人数は目標値を下回った。しかし、限られた活動の中で、異学年との交流、地域住民とふれあうことにより、地域を知る機会となった。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>地域子ども会ごとの活動状況や回数に差がある。また、他地域との交流が少ないため、佐渡市子ども会連絡協議会で、全子ども会を対象とした事業を実施する。多くの子ども会から参加いただけるよう、地域子ども会の保護者も巻き込み、企画・運営を行う。</p> <p>また、地域で実施される事業の継続、子どもたちが参加しやすい事業が実施できるよう支援する。</p>

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>子どもたちを取り巻く環境は複雑となっており、生活習慣の乱れやコミュニケーション能力の不足、体力の低下等、様々な課題がみられる。子どもたちが地域や様々な人と関わり合いながら、自ら考え、行動し、他者と共に協調する人間性を養うことが重要である。そのために地域と関係団体等が連携しながら積極的に事業を進めていく。</p> <p>青少年健全育成組織支援事業は、学校や放課後子ども教室と連携して事業を行うなどして、より多くの参加となるよう目指す。また、地域子ども会連絡協議会活動事業は、全子ども会を対象とした事業の実施を足がかりとして、各子ども会の事業の活性化を図るとともに、県内他市の先進事例の紹介を積極的に行っていく。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課・社会教育課		
事務事業名	㊸学校教育振興事業				
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実				
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】				
事業概要	・家庭教育の啓発活動を推進する。 ・コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進める。				
対象	教職員、児童、生徒、保護者				
意図（目標）	・児童生徒の健全育成と学習習慣の確立を目指し、PTA等において家庭教育の啓発活動を推進する。 ・「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させるとともに、「コミュニティ・スクール」を設置し、地域とともにある学校への転換を図る。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
PTA等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				
コミュニティ・スクールの設置数（小・中）		校	35 【A】	35	35 【A】
算式	設置数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	佐渡市PTA連合会の運営等支援			35	35	34
	指標	PTA指導者研修会の参加校	校			
2	コミュニティ・スクール研修会			2 (-)	2 (35校)	2 (35校)
	指標	研修会数（参加校）	回			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	佐渡市PTA連合会の運営等支援 【A】	【成果】 心身ともに健全な児童・生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA連合会主催で研修を実施し、全34校（1校PTAの組織を解散）が参加した。 【課題と対策】 PTA活動の活性化を図るため、来年度もPTA連合会主催で、研修会を開催する。			
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会 【A】	【成果】 令和6年度に作成した「佐渡市のコミュニティ・スクール・地域学校協働活動ガイドブック」を活用するための研修会を実施した。コミュニティ・スクール運用充実と、地域学校協働活動との一体的推進についての理解を深めることができた。 【課題と対策】 学校運営協議会の運用の充実が、地域学校協働活動につながることから一体的推進に向けて、CSディレクターや地域コーディネーター向けの研修会を実施していく。			

Action	今後の事務事業の改善案
	<p>PTA連合会主催で、研修会への参加を促し、引き続き全34校から参加してもらうようにする。佐渡市は全ての学校がコミュニティ・スクールで、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育てていくという理念のもと、コミュニティ・スクールの運用充実を図るため、CSポートフォリオの実施や協議会への支援を行う。</p> <p>また、地域学校協働活動との一体的推進に向けて、学校教育課・社会教育課合同の研修会を実施する。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課		
事務事業名	㊸学校・家庭・地域の連携促進事業				
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実				
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】				
事業概要	各小中学校に配置された地域コーディネーターを中心に、地域の人材を活用して子どもたちの学習を支援するなど、地域と学校の連携・協働を推進する。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームと連携し、家庭教育に関する相談対応や親子体験活動を実施し、すべての保護者が安心して家庭教育を行える環境を整える。さらに、中学生の家庭学習の定着・学力向上を目指して中学生対象の事業を起こし充実を図る。				
対象	児童、生徒、学校、地域、保護者				
意図（目標）	「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」、「土曜学習」、「地域未来塾」事業を拡充させる。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）		% （校）	100 （35） 【A】	100 （35）	100 （35） 【A】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				
学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）		% （校）	100 （35） 【A】	100 （35）	100 （35） 【A】
算式	実施校数 / 市内小中学校数				
放課後子ども教室を実施している学校（小）		% （校）	50 （11） 【A】	59 （13）	54 （12） 【A】
算式	実施校数 / 市内小学校数				
土曜学習・地域未来塾を実施している学校（中）		% （校）	23 （3） 【-】	100 （13）	100 （13） 【A】
算式	実施校数 / 市内中学校数				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	放課後子ども教室参加事業（子ども）			6,115	7,500	7,462
	指標	参加した子どもの人数	人			
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民）			1,721	1,000	1,670
	指標	参画した地域住民の人数	人			
3	土曜学習・地域未来塾事業（中学生）			64	150	195
	指標	参加した生徒の人数	人			

C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	放課後子ども教室参加事業（子ども） 【A】	<p>【成果】 目標値には達しなかったものの、昨年度より1教室増加したことにより、学校と連携した地域の教育力の向上が図られた。</p> <p>【課題と対策】 子どもたちにより多くの体験や学びを得てもらうため、活動環境や活動内容を変えながら取り組む。また、アンケート結果から子どもたちや保護者が希望する活動を取り入れ、充実した活動となるよう実施する。また、教室数が増えるよう、未設置の学校に協力依頼をして行く必要がある。</p>
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民） 【A】	<p>【成果】 目標値を大幅に達成し、各教室での運営委員会において事業の改善等をするなど、子どもたちが充実した活動を行えるような環境を整備した。</p> <p>【課題と対策】 より幅広い地域住民の参画を得るため、今後も各教室での活動内容や事業内容を広く周知し、理解を図るとともに、学校や地域とも連携しながら活動を行う。</p>
3	土曜学習・地域未来塾事業（中学生） 【A】	<p>【成果】 ICTを活用することで大学生の支援を得ることができたので、全中学校に参加を呼びかけ、参加者数も増やすことができた。</p> <p>【課題と対策】 授業内容を充実させるため、受講者等からのアンケート等を参考に、中学生の希望する授業内容を構成する必要がある。</p>

A c t i o n	今後の事務事業の改善案
	<p>地域の教育力の向上を図り、子どもたちの社会性の向上や社会を生き抜く力を育むため、学校運営協議会と地域学校協働本部が連携・協働する。地域課題や学校課題の解決に向けた活動、目指す子ども像に向けた活動を実施するなど、地域全体で子どもたちの成長を支える活動を推進する。</p> <p>家庭教育支援については、保護者向けの講演会等を開催し、保護者が安心して子育てができる環境を整える。</p> <p>土曜学習・地域未来塾については、授業内容を充実させ、開始時期（7月から開催）を早め、令和6年度以上学習者の増加を見込んでいく。</p>

令和7年度（令和6年度の事務対象）の評価票

Plan	事務事業の概要	担当課	教育総務課		
事務事業名	㉗児童援助事業・生徒援助事業				
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実				
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 18 虐待や貧困から子どもを守るための関係機関との連携強化】				
事業概要	経済的に困窮している児童生徒の保護者に学用品費や学校給食費、修学旅行費等の援助を行う。				
対象	児童、生徒の保護者				
意図（目標）	就学援助が必要とされる家庭すべてに行き届くよう努める。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	5年度 実績値	6年度（評価年度）	
算式	指標の算式			目標値	実績値
幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】
算式	関係機関と連携している割合				

Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			5年度 実績値	6年度（評価年度）	
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業			95.3	95	92.3
	指標	申請書の回収率	%			

Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業 【B】	<p>【成果】</p> <p>申請書の回収率は目標値に届かなかったが、一定の高い回収率を維持しており、児童・生徒が家庭の経済事情に関係なく学校生活を送ることができ、義務教育段階での教育機会の平等化に繋がった。</p> <p>また、長年の課題となっていた就学援助システムの導入により、今後の事務負担軽減及び就学援助費の早期支給が可能となった。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>申請書の提出先を学校としているが、学校ごとに回収率に差があり、明らかに対象とならない世帯にも提出を求めていることから、保護者や教職員の負担となっている。電子申請化により負担軽減を図りたい。</p>			

Action	今後の事務事業の改善案
<p>教職員等の事務効率化の観点から令和6年度末に就学援助システムを導入した。また、保護者の負担軽減のため、令和8年度以降に電子申請化を検討している。当面は、電子と紙の両方の申請を可とする予定であり、回収率が低下しないよう取組を進めていきたい。</p>	

評価

施策実施上注目すべき数値の一覧

基本目標	施策	指標	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値
1	1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差(小・中) [%]	小・国+1.8 小・算-2.5 【B】 中・国-3.8 中・数-10.0 【C】	小・全国 平均以上 中・全国 平均以上	小・国+0.3 小・算-1.4 【B】 中・国-4.1 中・数-9.5 【C】
		標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合(小・中) [%]	小59.0 【C】 中33.8 【C】	小80 中50	小61.4 【C】 中41.5 【B】
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合(小・中) [%]	100 【A】	100	91.4 【B】
		人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
	3	学校給食における地産地消の献立の実施状況(小・中) [%]	22.8 【B】	23	20.3 【B】
	4	基準に基づく介助員の配置割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
		「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
5	幼稚園・保育園との教育活動の交流を行っている割合(幼保・小) [%]	95 【B】	100	100 【A】	
2	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合(中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
		「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合(小) [%]	100 【A】	100	100 【A】
	7	小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合(小・中) [%]	54 【C】	80	84 【A】
		ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
3	8	通学路点検の実施割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
		防災教育の実施割合(小・中) [%]	100 【A】	100	100 【A】
	9	いじめの解消率(小・中) [%]	86.3 【B】 (R6.7月末)	100	93.4 【B】 (R7.7月末)
		不登校児童生徒の割合(小・中) [%]	小1.42 【C】 中6.14 【C】	小1.3 中5.0	小2.32 【C】 中5.72 【B】

基本 目標	施策	指標	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値
4	10	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合(小・中)【%】	82.9 【B】	90	80.0 【B】
	11	大学・大学生等との交流を行った割合(小・中)【%】	37.1 【C】	50	71.4 【A】
5	12	公民館利用者数【万人】	15.3 【B】	18.0	14.4 【B】
	13	体育施設利用者数【万人】	40.5 【C】	51.1	42.0 【B】
	14	図書館・図書室の来館者数【万人】	13.6 【B】	15.0	13.9 【B】
	15	博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数【人】	44,464 【C】	51,850	47,084 【B】
		佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数【人】	640 【A】	400	3,142 【A】
		世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数【件】	54 【A】	45	55 【A】
		ジオパーク推進事業に携わった人数【人】	6,197 【A】	6,000	4,688 【C】
	埋蔵文化財出前授業の件数【件】	18 【A】	18	20 【A】	
16	市展出品点数【点】	1,155 【B】	1,350	1,124 【B】	
6	17	P T A等で家庭教育啓発活動を実施している割合(小・中)【%】	100 【A】	100	100 【A】
		地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校(小・中)【%(校)】	100 (35) 【A】	100 (35)	100 (35) 【A】
		学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校(小・中)【%(校)】	100 (35) 【A】	100 (35)	100 (35) 【A】
	18	幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合(幼保・小・中)【%】	100 【A】	100	100 【A】

### 3 総評

令和6年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び自己評価について、事務点検評価者が点検・評価した結果は次のとおりである。

学校教育課が取り組む施策1～11の細事業（Do）に関する評価（Check）は、A評価が多く、担当職員が真摯に継続して取り組んだ成果であると評価するが、施策1及び施策9において「事務事業の目標（成果）指標」に対する評価が、B評価及びC評価となっており、十分な成果が得られていないことは残念である。

学校教育において最も大切にすべきは、「安心・安全な環境で、学力向上を図ること」であると考えるので、事業遂行の結果、目標（成果）指標の数値を達成できないということは、細事業（Do）の内容等について検討が必要ではないか。

また、いじめ・不登校対策を始め、「生徒（児童）指導」が安心・安全な環境を保つために役割が大きいと考えるので、この項目に関する細事業（Do）の検討をお願いしたい。

社会教育課の事業においては、細事業の自己評価でC評価が多く見られた。佐渡市における人口減少、少子高齢化を考えれば致し方ないが、担当職員が改善に向け、努力していることは評価報告書からも推測できるので、難しい課題ではあるが、一層の取組を進めてもらいたい。

スポーツ国際交流員（SEA）は、新潟県内でも初の取組であり、佐渡市地域クラブ活動での指導等で成果が認められる。市長部局との連携を密にし、スポーツ振興や国際交流イベント等での活躍を期待する。

世界遺産推進課の事業においては、世界遺産登録は非常に難しい課題であったと考えるが、行政、市民、企業が連携協力した結果であると評価する。

全体的にほぼ目標どおりの成果を上げていることは評価する。

ただ、既に目標を達成している事業や各施策の目標（成果）指標が適切でない事業が見られたので、見直しが必要ではないか。

## 【項目別の主な評価、意見】

### 総合教育センター事業

学力向上に関しては、これまでどおり学校支援訪問指導、校長会と連携した取組、教員研修の実施等を推進するとともに、市が授業支援ソフトやA Iドリルの積極的な活用を促し、基礎学力の定着に資することが重要であると考えます。

道徳教育に関しては、着実に実践していると思われるが、豊かな心、倫理観、規範意識が育まれているかを把握する指標の検討が必要ではないか。

### 総合学習支援事業

課題解決型職場体験、みらい's ノートやキャリアパスポートの活用によりキャリア教育が推進されていて良いことである。特に「地域や社会をより良くするために何かしてみたいと思うか。」との質問に対し、肯定的な回答の割合が高くなっていることは評価する。今後も児童、生徒が将来の夢や目標を持てるよう、学校と連携して取り組んでもらいたい。

### 心の教育支援事業

細事業の「心の教室相談員」事業、「不登校児童生徒訪問指導」事業及び「適応指導教室」運営事業の自己評価は、A又はBと高評価であるが、目標（成果）指標ではB又はCと低評価となっている。細事業の検討が必要ではないか。

「心の健康観察アプリ」の導入による即時把握と即時支援に期待し、児童、生徒の悩みや不安を十分に聞き取る体制を維持してもらいたい。

### スポーツ推進事業

佐渡市の人口減少、少子高齢化の現状を考えれば、スポーツに親しむ市民を増やし、体育施設等の利用者を増加させていくことは、非常に難しい課題ではあるが、地域クラブ活動は、スポーツに親しむ市民の裾野を広げる意味でも大変期待している。

### 世界遺産登録推進事業

佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業や世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等で目標値を上回る成果を上げている。世界遺産登録後の次世代への継承や佐渡金銀山が持つ価値や魅力を発信し、今以上に高める取組に期待したい。関連部署との連携を密にし、来島者のスム

ーズな受入れ等も進めてもらいたい。

#### ジオパーク推進事業

事業は市長部局へ移管されたが、今後も更に観光文化スポーツ部で連携しながら、ジオパーク、世界遺産、世界農業遺産の3資産の相乗効果を図ってもらいたい。

#### 芸術事業

人口減少、少子高齢化により市展への出品数及び入場者を増やすことは、大変難しい課題であると考えますが、入場者数を増やす工夫をしている点や出品数が増えたことは評価する。

#### 学校・家庭・地域の連携促進事業

学校、家庭、地域の連携は以前より重要な課題となっている。その中で放課後子ども教室（小学校）、土曜学習塾・未来塾（中学校）の実績値が令和5年度と比較し、大きく増加していることは良いことである。大変有効な取組であると考えるので、実施方法を工夫し実施率が上がるよう努力されたい。中学生の学力向上の一助になることを期待している。